清瀬市立南部児童館等複合施設「まつぼっくる」 様



清瀬市の複合施設「まつぼっくる」。施設利用者の見守りに、TOAの画像認識AI搭載ネットワークカメラTRIFORAをご採用いただきました。

インタビュー記事

誰もが自由に出入りできる、開かれた場所に――それは、清瀬市が「まつぼっくる」に込めた願いのひとつです。清瀬市立中央公園内に、児童館、図書館、地域市民センターの機能を備えた複合施設として誕生。公園との一体的な整備を通じて、子どもの居場所づくりと多世代交流の拠点を目指しています。公園内には本物の列車レストラン「夢空間」も設置され、地域の新たなランドマークとしてにぎわいを生み出しています。2026年2月のオープンから半年あまり、この開放的な空間を陰で支えているのが、TOAのネットワークカメラシステム「TRIFORA」です。導入の経緯や活用の様子について、館長の小椿清隆様にお話を伺いました。

**『カメラは、私たちの目の届かないところまで見てくれる、
もうひとりの職員のような存在です』**

清瀬市初の複合施設「まつぼっくる」

―まずは「まつぼっくる」という施設について、教えてください。

清瀬市には、北部に「ころぽっくる」という児童館があります。しかし線路の南側にはそうした場所がなく、地域から「南部にも児童館を」という声が寄せられていました。そして、老朽化が進んでいた中央図書館についても合わせて検討を進め、最終的に児童館・図書館・地域市民センター・公園を一体的に整備することになったのが、「まつぼっくる」誕生のきっかけです。愛称は、清瀬市の地名である松山の「松」、松の球果である「松ぼっくり」、そして姉妹施設「ころぽっくる」を組み合わせたもので、誰もが親しみやすいようにという想いが込められています。

発行：TOA株式会社　営業戦略部　〒665-0043　宝塚市高松町1-10　TEL:(0797)71-9057　FAX:(0797)72-2153

―建物や空間づくりで、特にこだわられた点はありますか。

設計を手がけたのは隈研吾建築都市設計事務所様です。エントランスホールには多摩産材を使ったルーバー（※板状の部材を隙間を空けて並べた建材）を設置していただいていて、木のぬくもりを感じられる空間になっています。中央公園に昔から根を張る松の木など、豊かな自然環境を活かした造りにもなっていて、掲示物もできる限り減らして、木の色を活かした落ち着いた空間づくりを意識しました。1階は児童館と市民センターが中心で、2階には図書館があります。2階は吹き抜けになっていて、1階で遊ぶ子どもたちの声が自然と響いてきます。最初は「うるさいのでは」という声もあったのですが、図書館側も「静かに本を読む場所」というより「会話が生まれる図書館にしたい」という方針を持っていましたので、無理に静かにさせるのではなく、自由に遊ぶなかで図書館にも行き来できる一体型の建物にしたいという思いを優先しました。



施設正面

発行：TOA株式会社　営業戦略部　〒665-0043　宝塚市高松町1-10　TEL:(0797)71-9057　FAX:(0797)72-2153

―館長ご自身は、どのような経緯でこちらに来られたのですか。

もともとは教員として長く教壇に立ち、校長、そして教育委員会の職を経て退職しました。その後、別の複合児童館で館長を5年務め、まつぼっくるのオープン準備のために着任しました。



施設やご自身の経緯について語る小椿様

開かれた場所だからこそ生まれた、「もう一つの目」という発想

―カメラを導入することになった経緯を教えてください。

まつぼっくるの出入口は、1階の正面玄関と駐車場側玄関、2階の公園テラスと読書テラスの計4カ所あり、どこからでも自由に出入りできる、地域に開かれた設計です。ただ、その開放性は同時に、誰が、いつ、どれだけ館内にいるのかを把握しにくいという課題もありました。私が以前勤めていた児童館では、顔認証付きのカードで入退館を管理していました。でも、まつぼっくるのように開放的な造りでは、同じ管理の仕組みをそのまま持ち込むことはできません。そこで着目したのが、カメラによる見守りと、AIによる人数カウント機能でした。

発行：TOA株式会社　営業戦略部　〒665-0043　宝塚市高松町1-10　TEL:(0797)71-9057　FAX:(0797)72-2153

―数あるメーカーの中で、TOAを選ばれた決め手は何だったのでしょうか。

私たちが望む位置から、きちんと映してほしい。そんな要望に一つひとつ丁寧に応えてくださったことが、大きな決め手でした。館内には屋外も含めて約20台のカメラを設置していただいて、そのうち出入口の4カ所のカメラには、AIによる人数カウント機能が備わっています。この4カ所の人数を合算することで、館全体の入退場者数がほぼ正確に把握できる仕組みです。

―導入にあたって、苦労された点はありますか。

建物の引き渡しから開館までの短いスケジュールで設置工事を進めなければならなかったことですね。それでも一つひとつの課題に向き合いながら、今のかたちにたどり着いたという感じです。



正面玄関のカメラ N-C62250-3



駐車場側玄関のカメラ N-C62250-3



公園テラスの屋外カメラ N-C68550R3は出入口の前に設置



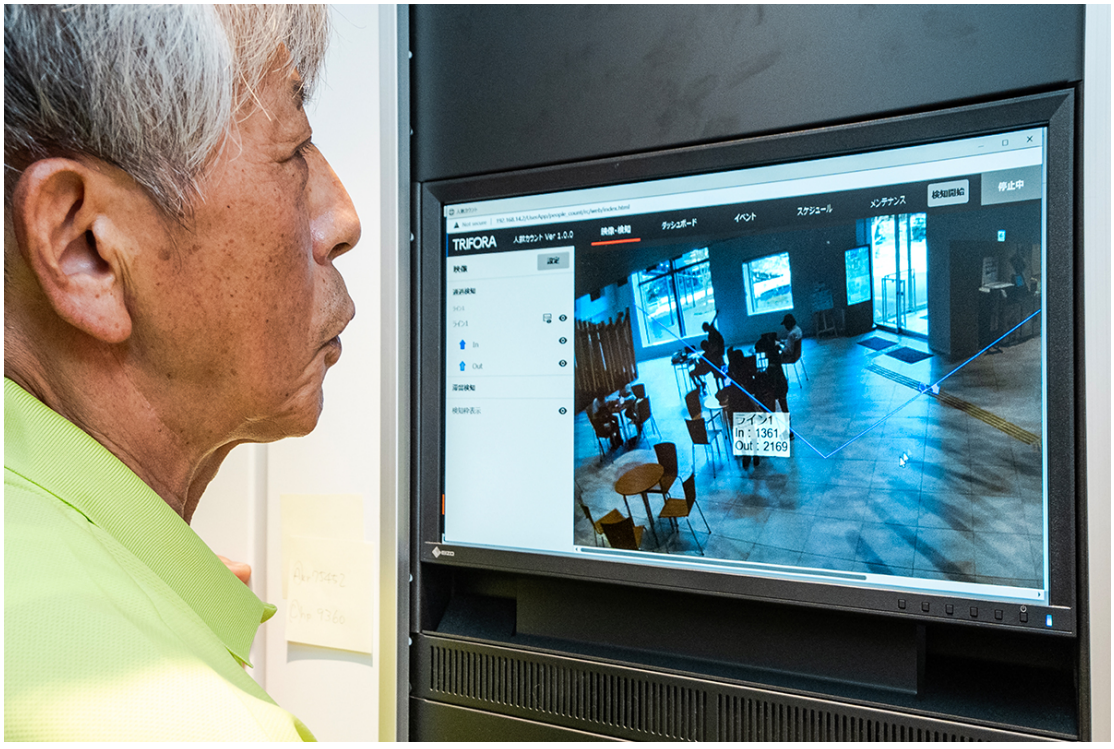
読書テラスの屋外カメラ N-C68550R3

発行：TOA株式会社　営業戦略部　〒665-0043 宝塚市高松町1-10 TEL:(0797)71-9057 FAX:(0797)72-2153

スタンプカードとAI。アナログとテクノロジーを、自在に使い分ける

―人数の把握方法について、工夫されている点を教えてください。

子どもたちの日常的な来館については、あえて昔ながらの「スタンプカード」を採用しています。来館するたびにスタンプが押されて、30回たまると景品がもらえる仕組みです。以前の職場では顔認証カードを使っていたのですが、子どもたちが仕組みに慣れてくると、カードを忘れても入れるからと持参しなくなってしまう悩みがありました。ここでは思い切ってアナログな方式に立ち返ったところ、子どもたちにも好評で、受付での「今日で何回目だね」という何気ないやり取りが、子どもと職員との自然な交流のきっかけにもなっています。一方、こどもの日のイベントのように来館者が一気に増える場面では、さすがに手作業でのカウントは追いつきません。そういうときに活躍するのがAIカメラです。2026年のこどもの日（5月5日）のイベントでは、延べ約1,200人の来館を計測しました。数字として残っているので、翌年以降の材料や景品の準備量を見積もる根拠にもなりますし、行政への予算申請の裏付けとしても役立っています。



正面玄関のカメラ映像。V字のラインを人が通るとAIが人数をカウントする

発行：TOA株式会社　営業戦略部　〒665-0043 宝塚市高松町1-10 TEL:(0797)71-9057 FAX:(0797)72-2153

限られた人数だからこそ、カメラが果たす役割

―日々の運用は、どのようにされているのですか。

常勤職員は8名です。開館時間は朝9時から夜10時までと長くて、早番・遅番のシフトを組んでも、実際に現場にいる職員は多くて4名ほど。休みが重なれば、前半・後半それぞれ2名という日もあります。この人数で広い館内を隅々まで巡回するのは、正直簡単ではありません。だからこそ、事務所のモニターに映る館内の様子は、限られた人数で館全体を見守るための心強い味方になっています。ふだんは16分割の画面で全体を見渡して、子どもが多く集まる屋内運動広場などで気になる動きがあれば、その場面を拡大して確認し、必要があれば職員が現場に足を運ぶという流れです。

―実際にカメラが役立ったと感じる場面はありましたか。

以前の職場で館内での盗難事案が発生した際、カメラの記録が警察への情報提供に役立った経験があります。まつぼっくるではそうした事案は起きていませんが、映像が残っているという事実そのものが、利用者とのやり取りにおける「言った・言わない」を防いで、事後の対応をスムーズにしてくれるはずだという安心感につながっています。何かあったときに、職員がその場にいなかったと言われても、記録があれば安全管理を怠っていたわけではないと説明できる。それは、私たち自身を守ることにもつながっていると感じています。

―利用者の反応はいかがですか。

リニューアル前の中央公園は、薄暗くて少し物騒な雰囲気もありましたが、今は明るく開放的な空間に生まれ変わりました。この半年、大きなトラブルは一件も起きていません。カメラだけの力ではないと思いますが、明るい雰囲気づくりと合わせて、いたずらをしたい人にとっては近寄りがたい場所になっているのかもしれません。利用者からの反応も穏やかなもので、カメラの存在そのものに対する苦情はほとんどなく、むしろ「何かあったときはカメラを見れば分かるのでは」と頼りにされる場面のほうが多いくらいです。

発行：TOA株式会社　営業戦略部　〒665-0043　宝塚市高松町1-10　TEL:(0797)71-9057　FAX:(0797)72-2153



防犯カメラというより見守るためのカメラ

これからの「まつぼっくる」

―今後の展望を聞かせてください。

館の外に広がる中央公園エリアへも、カメラの設置を広げていく計画があります。職員の数は変わらないなかで、テニスコートや広場など見守るべき範囲が屋外にも広がっていくので、カメラの役割は今後ますます大きくなっていくと思います。夏場の熱中症対策としての定期アナウンスや、多言語対応の館内放送など、TOAからも新しい提案をいただいていて、単なるメーカーとユーザーというより、一緒に施設を育てていくパートナーのような関係だと感じています。

発行：TOA株式会社　営業戦略部　〒665-0043 宝塚市高松町1-10 TEL:(0797)71-9057 FAX:(0797)72-2153

―最後に、施設のコンセプトとカメラ導入の関係について教えてください。

まつぼっくるは「こころ踊る出会いがあり、のびのび・すくすく・いきいき過ごす未来創造拠点」というコンセプトを掲げています。利用者の様子を直接見て、声をかけて対応する。それが私たちの基本スタイルです。それでも、どうしても見落としてしまうところを、カメラが補ってくれる。あとから映像を見返すことで、私たち自身も気づかされることがあります。欲を言えばきりがないけれど、いまは本当に、心強い味方になってくれていると感じていますね。



「利用者が安心して過ごせる場所」を心がける小椿様

お話を伺った方



清瀬市立南部児童館等複合施設「まつぼっくる」 館長
小椿 清隆　様

元教員（校長経験後、退職）。以前の職場である複合児童館で5年間館長を務めたのち、まつぼっくるの立ち上げのため着任。
オープン準備段階から関わり、現在に至る。
まつぼっくるHP：https://kiyose-matsubockle.com/matsubockle

発行：TOA株式会社　営業戦略部　〒665-0043　宝塚市高松町1-10　TEL:(0797)71-9057　FAX:(0797)72-2153

導入効果・ポイント

開かれた施設の安全・安心を支える、TRIFORAの導入効果

清瀬市立南部児童館等複合施設「まつぼっくる」では、開放的な造りゆえの安全管理という課題に対し、TOAのネットワークカメラシステム「TRIFORA」を導入。限られた職員体制のなかでも、館内の状況をリアルタイムに把握できる環境を実現しました。AIによる人数カウント機能はイベント運営や行政への報告資料としても活用され、防犯面では抑止効果や、万一の際の記録としての安心感にもつながっています。



事例からわかるTRIFORAのポイント

- 開放的な施設設計にあわせて、要望に応じた柔軟な設置位置・録画機能を実現
- 複数の出入口にAI人数カウント機能搭載カメラを設置し、合算することで館全体の入退館者数を把握
- 限られた人員体制のなかでも、モニターを通じた館内の見守りを実現し、有事の記録・事後対応にも活用

発行：TOA株式会社　営業戦略部　〒665-0043　宝塚市高松町1-10　TEL:(0797)71-9057　FAX:(0797)72-2153

納入商品

納入商品



ネットワークカメラシステム TRIFORAシリーズ
2Mドーム型ネットワークカメラ　N-C62250-3
5Mドーム型赤外ネットワークカメラ　N-C62550R3
5M屋外ドーム赤外ネットワークカメラ　N-C68550R3
ネットワークレコーダー　32局　8TB　N-R532-8
TRIFORA拡張アプリ人数カウント（6シリーズ）

納入時期

2026年1月

「TRIFORAについて詳しく知りたい」「施設の防犯体制を見直したい」という方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

TRIFORAシリーズの詳細はポータルサイトでもご覧いただけます。
https://www.toa-products.com/trifora/



発行：TOA株式会社　営業戦略部　〒665-0043 宝塚市高松町1-10 TEL:(0797)71-9057 FAX:(0797)72-2153